

2013年2月期(第31期) 第2四半期決算説明会

ソーバル株式会社

大阪証券取引所(JASDAQスタンダード)

証券番号:2186

平成24年10月4日

代表取締役社長

推津 順一

総スライド数:14ページ

Result

- 1-1 業績修正のお知らせ
- 1-2 業績ハイライト
- 1-3 財政状態、キャッシュフロー
- 1-4 売上構成比(セグメント／主要顧客)
- 1-5 総括

Future

- 2-1 今期の見通しと業績予想
- 2-2 配当予想

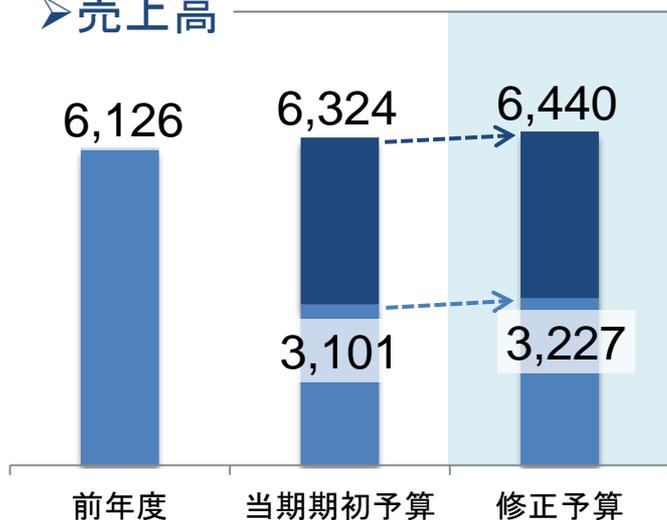
Strategy

- 3-1 解決すべき課題
- 3-2 M&A戦略
- 3-3 R&D戦略

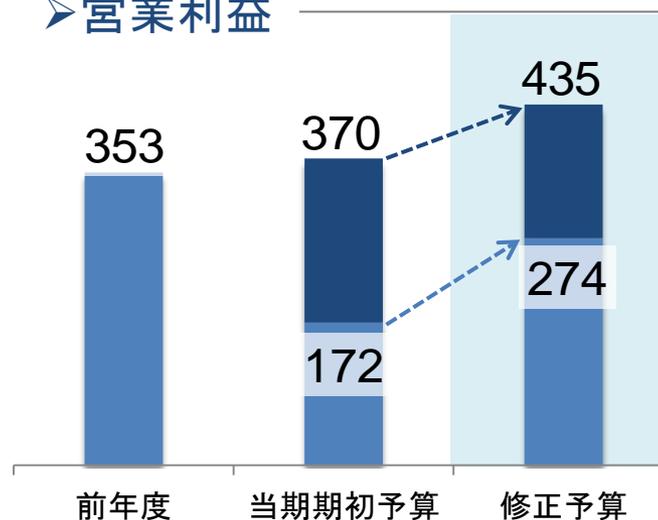
Information

- 4-1 株主優待制度

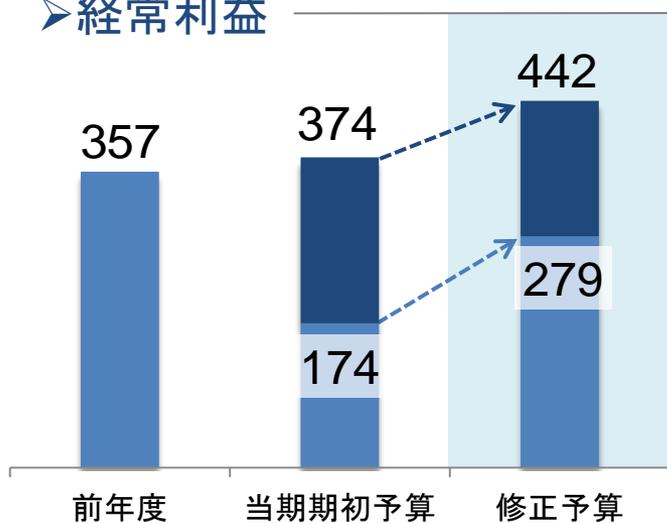
➤売上高



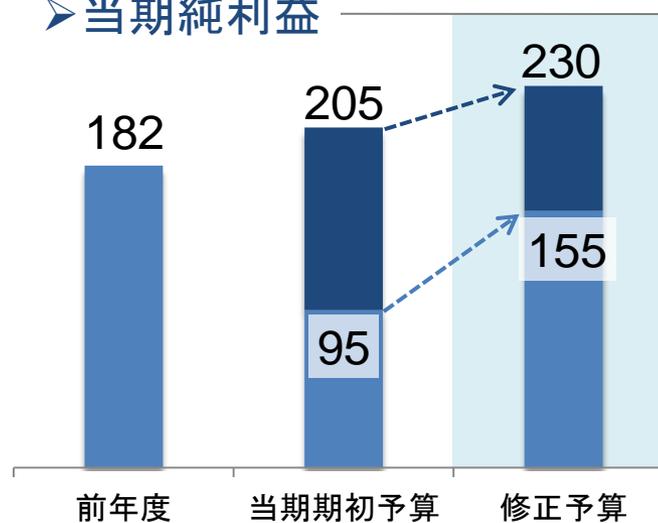
➤営業利益



➤経常利益



➤当期純利益



(百万円)

科目	2012年 2月期2Q 実績	2012年 2月期 実績	2013年2月期				
			2Q 期初予算	2Q 実績	前年 同期比	通期 期初予算	通期 修正予算
売上高	2,971	6,126	3,101	3,227	108.6%	6,324	6,440
営業利益	149	353	172	274	183.0%	370	435
経常利益	※146	※351	174	279	191.0%	374	442
当期純利益	81	182	95	155	191.5%	205	230

Point

売上、利益共に期初の予算を上回る結果となりました。通期の予算を組み直しておりますが、楽観視できない情勢であるため、2Qまでの伸び率に対して抑え目にしております。

※2012年2月期第2四半期ならびに通期の経常利益が以前に開示された内容と異なっておりますが、これは、当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用したものです。

科目	2012年 2月期2Q	2012年 2月期	2013年 2月期2Q
総資産	2,513百万円	2,624 百万円	2,868 百万円
純資産	1,947百万円	2,026百万円	2,147百万円
自己資本比率	77.5%	77.2%	74.9%
1株当たり純資産	896円55銭	※466円49銭	494円11銭
営業活動によるCF	△58	114	294
投資活動によるCF	32	29	△3
財務活動によるCF	△21	△43	△34
期末残高	1,169	1,318	1,575

※平成23年11月1日付けで1株につき2株の株式分割を実施。

Point

自己資本比率は、前事業年度末よりやや減少するも、高い比率を維持。1株当たり当期純利益も順調に推移。

Point

キャッシュフローにつきましては大きな投資も無く、税金等調整前純利益の計上が法人税等の支払額等を上回り、キャッシュは順調に増加。

科目	2011年 2月期	2012年 2月期	2013年 2月期2Q
特定派遣	62.5%	63.5%	62.4%
業務請負	36.2%	34.6%	36.8%
その他事業(RFID等)	1.3%	1.9%	0.8%
キヤノン株式会社	76.2%	72.7%	70.7%
キヤノングループ	2.9%	3.1%	3.3%
ソニー株式会社	8.7%	6.6%	6.2%
その他	12.2%	17.6%	19.8%

Point

特定派遣は売上増加も構成比は減少。業務請負は大幅増加。

Point

キヤノン売上が増加も、相対的比率は減少。

※ 2012年2月期・2013年2月期2Qは連結、2011年2月期は単体。

Point 1

前年度後半からの高稼働が継続

Point 2

業務効率化・コスト削減施策等が奏功

Point 3

人員減を協力会社の活用でカバー

2Qでの増収増益を達成、上方修正

課題

- 依然として円高基調による受注下振れリスクは健在
- RFID周波数再編による置き換えニーズの喚起及び獲得
- MCT社の安定収益確保及びオムロン社への積極営業

円高基調リスク

依然として円高基調による受注下振れリスクは健在。

取り組み

- 為替影響を受けない顧客の開拓
- 早い段階での予算達成

RFID周波数再編による置き換えニーズの喚起及び獲得

取り組み

- HF帯の販売強化など

MCT社の安定収益確保及びオムロン社への積極営業

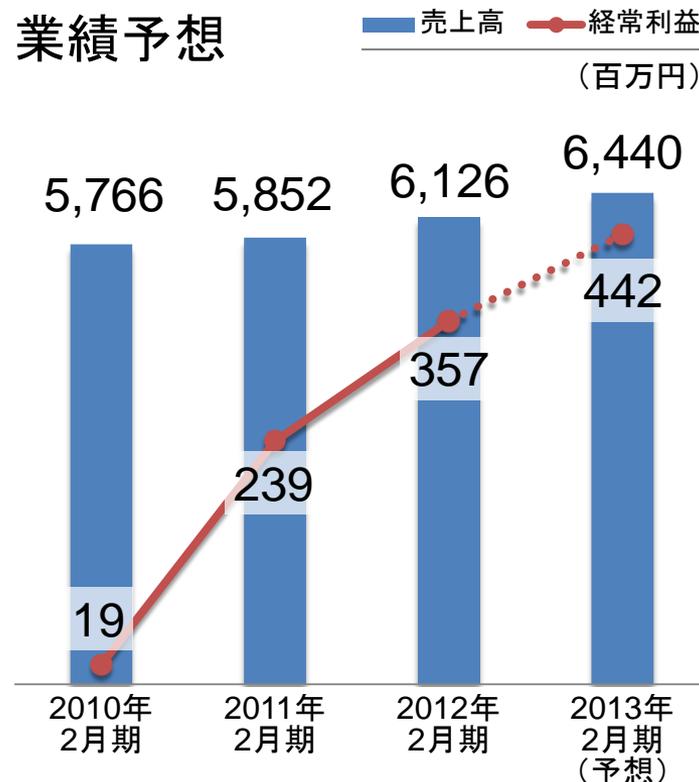
取り組み

- 財務の見える化
- 空き工数の有効活用

2012年9月

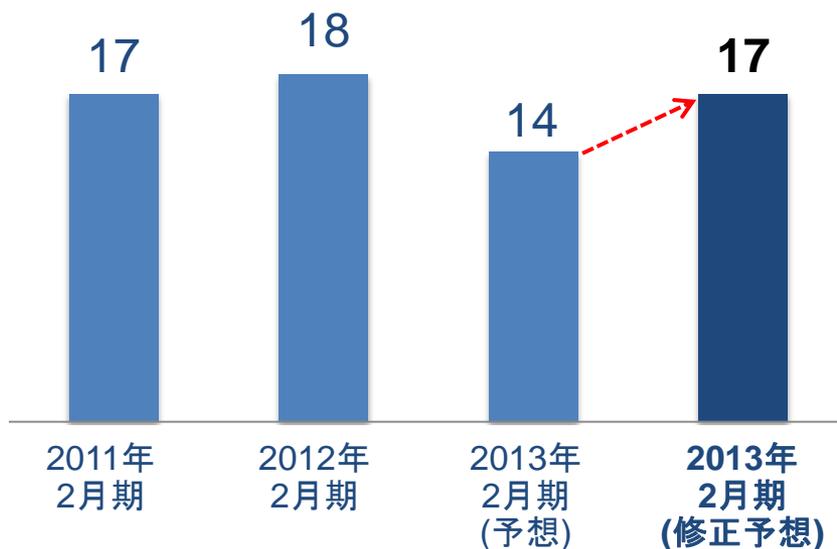
- 株式会社MCTの子会社化
- オムロン株式会社と業務提携

業績予想



※ 2012年2月期(第30期)より連結のため、2010年2月期・2011年2月期は個別の数値

基準日	一株当たり配当金			配当性向
	第2四半期末	期末	年間	
2013年2月期 (修正予想)	8円00銭	9円00銭	17円00銭	32.1%
2013年2月期(予想)	7円00銭	7円00銭	14円00銭	29.7%
2012年2月期	10円00銭	8円00銭	18円00銭	31.0%
2011年2月期	7円00銭	10円00銭	17円00銭	29.6%



Point

配当性向約30%の水準を維持。
2013年2月期は上期1円、下期2円の増配を予定。

※平成23年11月1日付けで1株につき2株の株式分割を実施。

人材確保



- 新卒採用を主軸とした人材確保
- 中長期の採用計画と環境づくり

販路拡大



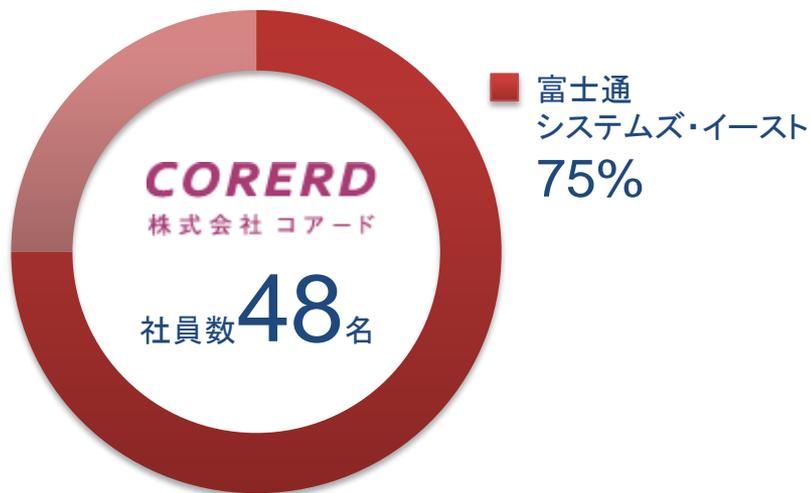
- 特定顧客依存からの脱却
- 為替変動等のリスクに対応できる体制づくり

高齢化対策



- 定年まで活躍できる環境を構築
- 労働集約型ビジネスに頼らない収益の柱を確保

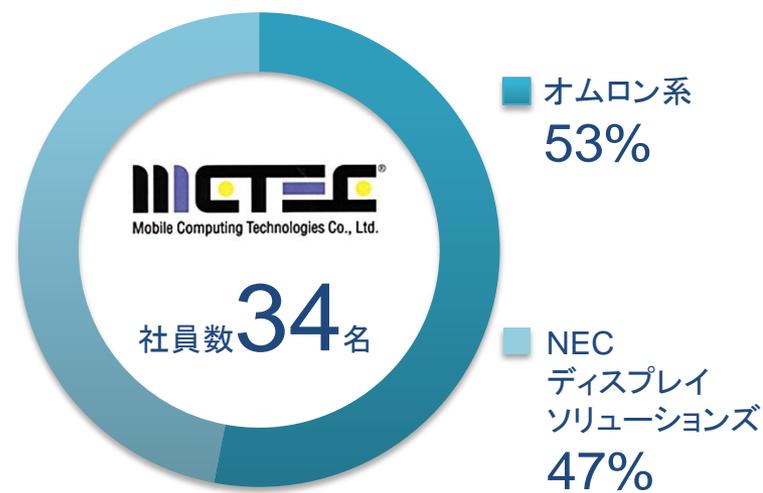
株式会社コアード



富士通系業務システム開発を得意とする。
(売上の86%) 業務請負が93%。

(2011年3月子会社化)

株式会社モバイル コンピューティングテクノロジー



NEC系、オムロン系を得意とする。
元オムロン孫会社。業務請負100%。

(2012年9月子会社化)

新分野への対応

Android / iOS



- ✓新規顧客開拓
- ✓開発依頼

先端技術の要素開発

RFID関連 / 画像処理関係



- ✓特許取得

ネット関連分野

クラウドの活用等



- ✓ポータルサイト運営
- ✓M&A戦略加速

対象

毎年8月31日(基準日)、当社株式を100株以上ご所有の株主様

優待内容

東北の名産品やお米など4種類の優待品の中から、ご希望のギフトをお選びいただけます。株主様のご意志、またはギフトのご指定がない場合は、義援金として当社より日本赤十字社へ寄付いたします。

1. 名産品



醤油とポン酢
のセット

2. お米



無農薬米
コシヒカリ(2kg)

3. おまかせ



りんごジュース
(10本)

4. 義援金



305,000円を
日本赤十字に寄付

株主優待品
(前年実績)

贈呈時期

年1回実施、毎年1月下旬頃お届け

応募方法やギフト配送業者、その他株主優待に関する詳しい情報は、当社ホームページをご覧ください。

役員、社員一同、一丸となって
企業価値向上に邁進してまいりますので、
引き続きご愛顧のほど
よろしくお願い申し上げます。